

② 入試区分

編入学（Ⅲ期）

③ 出題科目

小論文

④ 出題の意図

学科内の授業に対応できる英語力があるかどうかを判断するため、まず医師と患者のコミュニケーションに関する全6パラグラフから成る英文を日本語で要約し、その後に日本語で自分の意見を述べてもらうという形式をとっている。

難解な語句には注をついているが、注のついていない語句に関しては文脈の中で適切に読み取って要約できているかどうかがポイントになる。

2023年度Ⅲ期徳島文理大学英語英米文化学科編入学試験問題(小論文)2023年3月4日

次の英文を読み、内容を日本語で要約し、内容に対する自分の意見を日本語で述べなさい。字数制限は設けませんが、解答欄の枠内におさまるよう、箇条書きではなく文章でまとめて下さい。必要に応じて行替え(段落替え)を行ってもかまいません。なお、*のついた単語には注があるので参考にすること。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(Carpenter, Richard 他 *Delightful Topics for Reading & Writing* 松柏社)

注: wait out「～の間じっとしている」, reassuring「安心させる, 元気づける」, soothe「本当の, 真の」, in the grip of「～につかまれて」, turmoil「大混乱, 動揺」, tribulation「試練」, blandishment「甘言, なぐさめ」, spouse「配偶者」

2023 年度 徳島文理大学 英語英米文化学科 編入学試験 解答用紙(裏面使用不可)

番号:

氏名:

(要約)

(自分の意見)

総計

2023 年度 徳島文理大学 英語英米文化学科 編入学試験 正答例

(要約)患者が「とてもつらい経験をした」と訴え私と交わした後、言葉を探したり泣き出したりして沈黙が生じることがよくある。その理由はさまざまで、しばらくオフィスは完全な沈黙で満たされる。このような瞬間は、最大でも 1 分程度だが、小さな沈黙のように感じられる。時には話を促し時にはこちらが説明を始めるが、沈黙は耐え難いものだ。
しかしそれは精神科医としては失格だ。研修医用の患者面談の教科書では、患者とともに沈黙せよとある。その間、医師は可能な限り話したり動いたりしない。
患者が緊張しないように、自分自身がリラックスして見えるようにするのだ。
このような沈黙は、患者を落ち着かせるのに非常に効果がある。
人が感情的に混乱したり深い悲しみにある時は、言葉が役に立たない。側にいる者が無理に話を促す必要はなく、一緒に静かな時間を過ごすだけで十分だ。
「共通の沈黙」は落ち込む人へのどんな言葉や薬よりも効果がある。一方で、「配偶者と話をしなくても大丈夫だ」と言われると、「それは少し違う」と言いたくなる。
(自分の意見) 正答例略

総計	
----	--

